



「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン」の主な改定内容と今後の検討方針について

キーワード

更生工法, 管きょ更生工法, 設計・施工管理, ガイドライン



1. まえがき

下水道事業における更生工法の施工実績は7,000kmを超え、今後ますます需要が増えることが見込まれている。下水道事業の経営環境が厳しさを増す中、効率的な事業推進や適切な資産管理が求められており、更生工法は管路施設の効率的な改築などを進める上で、今や不可欠な技術となっている。

日本下水道協会では、平成23年12月に「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン（案）」（以下、「旧ガイドライン」）を作成し、管きょ更生工法に関する設計・施工管理方法の基本的な考え方を示した。しかし、工法が多岐にわたり、それぞれ設計や施工管理の考え方も統一的でない部分があることから、「旧ガイドライン」では、解決に至らなかった12の課題が明記された。そこで、それら12の課題に加え、新たに提起された課題を検討するため、平成25年2月に学識経験者や地方公共団体職員等からなる「専門委員会」及び耐薬、設計並びに施工の3つの「小委員会」、

改定案作成のための「幹事会」を設置して改定作業を進め、平成29年7月に「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン—2017年版—」（以下、「本ガイドライン」）を発刊した（表-1「本ガイドライン」の構成）。

2. 「本ガイドライン」の主な改定内容

今回の主な改定内容としては、「旧ガイドライン」で残された12の課題である「耐薬品試験の見直し」や「耐震性能の評価方法」等に加えて、新たに提起された課題である「管きょ更生工事における資格制度の活用」や「既設管の鉄筋耐力評価手法」等に対する対応方針等を盛り込み、全面的な改定を行った（表-2「本ガイドライン」の主な改定内容）。

【第1章 はじめに】

○試験片を一定期間試験液に浸漬し、その前後の曲げ強さ及び曲げ弾性率により性能を評価する新たな耐

表-1 「本ガイドライン」の構成

本編	第1章 はじめに	概要、適用範囲と用語の定義、ガイドラインの構成、管きょ更生工法の要求性能
	第2章 調査	調査概要、調査方法、調査結果の整理
	第3章 設計	既設管きょの健全度評価、更生工法の制定、自立管の設計、複合管の設計
	第4章 施工	施工計画、施工管理
	第5章 今後の課題	今後の課題（課題1～6）
参考編		下水道管きょ更生工法の審査証明一覧表、構造計算例、要求性能に関する評価・試験方法等21項目